

SDGsの目標



SDGs (持続可能な開発目標)

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」のなかで掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

【SDGs と総合計画・総合戦略との関連性】

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の横断的目標として「新しい時代の流れを力にする」を掲げており、そのなかに「地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり」が明記されています。持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取り組みを推進するにあたって、SDGsの理念に沿って進めることにより、地域課題解決の加速化が図られ、地方創生の取り組みの一層の充実・深化につなげていこうというものです。

北秋田市では、SDGsの視点を「第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年度から令和7年度）の施策に関連するSDGsロゴを表記して関連付けし、人口減少の克服と地方創生に向けた取り組みを進めるとともに、第2次北秋田市総合計画後期基本計画（令和3年度から令和7年度）の各施策にも関連付けを行い、長期的なスパンでまちづくりを進めていくこととしています。

SDGsの詳しい内容については

内閣府地方創生推進事務局（地方創生SDGs官民連携プラットフォーム）を参照ください。
<https://future-city.go.jp/> QRコード→



【お問合せ先】
 総合政策課政策係 ☎62-6606

第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定

これまで第2次北秋田市総合計画の基本構想に掲げている将来都市像の「住民が主役の"もり"のまち」の実現に向けて、「北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取り組みを総合計画の重点プロジェクトとして位置付け、推進を図ってきました。

そしてこのたび、国が掲げる「将来にわたって活力ある地域社会の実現」に向け、新たに「第2期北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和3年度から令和7年度）」を策定いたしました。

第1期と同様に第2次北秋田市総合計画後期基本計画（令和3年度から令和7年度）の重点プロジェクトとして位置付け、人口減少の克服と地方創生に向けた取り組みを加速させていきます。

《総合戦略1》

産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり

【戦略の概要】

各産業において連携を強め、地域内経済の循環、ひとの流れを呼び込む取組を推進することで、担い手の育成・人材の確保を図り、地域の活力となる仕事づくり・稼ぐ地域づくりに取り組みます。

<関連する施策>

- ①農業・畜産の振興②林業の振興③商業の振興
- ④観光・レクリエーションの振興⑤工業の振興

《総合戦略2》

新たな人の流れをつくる移住・定住の促進

【戦略の概要】

本市の住み良さや魅力の情報発信を行うことで、認知度向上を図り、農林業や観光を入口とした移住体験を実施し、移住希望者の検討先となるよう努めます。

<関連する施策>

- ①移住定住の促進②地域間交流の推進

《総合戦略3》

結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進

【戦略の概要】

安心して出産・子育てできるように、仕事と家庭を両立できるための支援や、子育てに係る負担軽減や不安解消に向けた切れ目のない支援を行い、地域や社会全体で子育てを支えます。

<関連する施策>

- ①安心して結婚・出産・子育てできる環境の充実
- ②男女共同参画社会の実現

《総合戦略4》

住み続けたい、安心を築く地域社会の形成

【戦略の概要】

暮らしの基礎となる身近な生活環境や社会基盤の維持、誰もが生き生きとした人生を送ることができる共生地域社会の実現に取り組みます。

<関連する施策>

- ①地域コミュニティの推進・地域自治の体制確立
- ②学校教育の充実③生涯学習の充実④住環境の整備⑤雪対策の充実⑥公共交通の維持・確保⑦地域防災体制の充実⑧新しい生活様式への対応